

DP対応表

	前文	DP1 非認知能力・主体性	DP2 専門的知識・技能	DP3 課題解決能力	DP4 社会参画・地域貢献	DP5 グローバルマインド
全学	環太平洋大学は、「挑戦と創造の教育」を建学の精神とし、「豊かな人間性と個性」「深い専門性と実践力」「コミュニケーション能力とグローバルマインド」を身に付け、主体的に社会に貢献しようとする意欲と能力を備えた人材の育成を目指しています。これらの方針の下で編成された教育課程により学業を修め、以下の資質・能力を身に付けたと認められる学生に対して、学士の学位を授与します。	DP 1 - 他者と関わり、感情を調整し、目標を達成できる。	DP 2 - 専門分野における知識・技能を修得できる。	DP 3 - 修得した知識・技能を活用し、課題解決を図ることができる。	DP 4 - 地域社会や産業界の課題を見出し、多様な主体との協働を通して、その解決に参画することができる。	DP 5 - 異なる社会・文化・言語を深く理解し、地球市民として広く交流できる。
こども発達学科	次世代教育学部こども発達学科では、本学科の教育課程により所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身に付けたと認められる学生に対して、学士（次世代教育学）の学位を授与します。	DP 1 - 他者と関わり、感情を調整し、目標を達成できる。	DP 2 - 保育・幼児教育分野における専門的な知識・技能を修得できる。	DP 3 - 修得した知識・技能を活用し、保育・幼児教育に関する課題解決を図ることができる。	DP 4 - 地域社会における保育・幼児教育の課題を見出し、多様な主体との協働を通して、その解決に参画することができる。	DP 5 - 保育・幼児教育を通して、異なる社会・文化・言語を深く理解し、地球市民として広く交流できる。
教育学科	次世代教育学部教育学科では、本学科の教育課程により所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身に付けたと認められる学生に対して、学士（次世代教育学）の学位を授与します。	DP 1 - 他者と関わり、感情を調整し、目標を達成できる。	DP 2 - 初等・中等教育分野における専門的な知識・技能を修得できる。	DP 3 - 修得した知識・技能を活用し、初等・中等教育に関する課題解決を図ることができる。	DP 4 - 地域社会や産業界における課題を見出し、多様な主体との協働を通して、その解決に参画することができる。	DP 5 - 初等・中等教育を通して、異なる社会・文化・言語を深く理解し、地球市民として広く交流できる。
体育学科	体育学部体育学科では、本学科の教育課程により所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身に付けたと認められる学生に対して、学士（体育学）の学位を授与します。	DP 1 - 体育・スポーツを通して他者と関わり、感情を調整し、目標を達成できる。	DP 2 - 体育・スポーツ分野における専門的な知識・技能を修得できる。	DP 3 - 修得した知識・技能を活用し、体育・スポーツに関する課題解決を図ることができる。	DP 4 - 体育・スポーツを通して地域社会や産業界の課題を見出し、協働を通して課題解決に参画できる。	DP 5 - 体育・スポーツを通して、異なる社会・文化・言語を深く理解し、地球市民として広く交流できる。
健康科学科	体育学部健康科学科では、本学科の教育課程により所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身に付けたと認められる学生に対して、学士（健康科学）の学位を授与します。	DP 1 - 他者と関わり、感情を調整し、目標を達成できる。	DP 2 - 柔道整復学、健康科学及びスポーツ医科学分野における専門的な知識・技能を修得できる。	DP 3 - 修得した知識・技能を活用し、柔道整復学、健康科学及びスポーツ医科学に関する課題解決を図ることができる。	DP 4 - 地域社会や医療・健康・スポーツの現場における課題を見出し、多様な主体との協働を通して、その解決に参画することができる。	DP 5 - 医療・健康・スポーツを通して、異なる社会・文化・言語を深く理解し、地球市民として広く交流できる。
競技スポーツ科学科	体育学部競技スポーツ科学科では、本学科の教育課程により所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身に付けたと認められる学生に対して、学士（体育学）の学位を授与します。	DP 1 - スポーツを通して他者と関わり、感情を調整し、目標を達成できる。	DP 2 - 競技スポーツ及びスポーツ科学分野における専門的な知識・技能を修得できる。	DP 3 - 修得した知識・技能を活用し、競技スポーツ及びスポーツ科学に関する課題解決を図ることができる。	DP 4 - 地域社会やスポーツ産業界における課題を見出し、多様な主体との協働を通して、その解決に参画することができる。	DP 5 - スポーツを通して、異なる社会・文化・言語を深く理解し、地球市民として広く交流できる。
現代経営学科	経済経営学部現代経営学科では、本学科の教育課程により所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身に付けたと認められる学生に対して、学士（経営学）の学位を授与します。	DP 1 - 他者と関わり、感情を調整し、目標を達成できる。	DP 2 - 経済・経営分野における専門的な知識・技能を修得できる。	DP 3 - 修得した知識・技能を活用し、経済・経営に関する課題解決を図ることができる。	DP 4 - 地域社会や産業界における課題を見出し、多様な主体との協働を通して、その解決に参画することができる。	DP 5 - 経済・経営に関する学修や国際交流を通して、異なる社会・文化・言語を深く理解し、地球市民として広く交流できる。
国際経済経営学科	国際経済経営学部国際経済経営学科では、本学科の教育課程により所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身に付けたと認められる学生に対して、学士（経営学）の学位を授与します。	DP 1 - 他者と関わり、感情を調整し、目標を達成できる。	DP 2 - 経済・経営及び国際ビジネス分野における専門的な知識・技能を修得できる。	DP 3 - 修得した知識・技能を活用し、国内外の経済・経営に関する課題解決を図ることができる。	DP 4 - 地域社会及び国内外の産業界における課題を見出し、多様な主体との協働を通して、その解決に参画することができる。	DP 5 - 国際交流及び異文化理解を通して、異なる社会・文化・言語を深く理解し、地球市民として広く交流できる。

CP対応表

	全学	こども発達学科	教育学学科	体育学科	健康科学科	競技スポーツ科学科	現代経営学科	国際経営学科
CP前文	環太平洋大学は、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を備え、こわからの社会に貢献できる人材を育成するため、教養科目、専門基礎科目、コア科目等により教育課程を編成し、能動的な学修を促すための、講義、演習、実習等を適切に組み合わせます。各科目の到達目標とディプロマ・ポリシーとの関係は、カリキュラム・マップ及びシラバス（授業計画）に明示します。教育内容、教育方法及び教育評価に関する方針を、以下のとおり定めます。	次世代教育学部こども発達学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を備え、保育・幼児教育の現場及び地域社会に貢献できる人材を育成するため、教養科目、専門基礎科目、コア科目等により教育課程を編成し、能動的な学修を促すための、講義、演習、実習等を適切に組み合わせます。各科目の到達目標とディプロマ・ポリシーとの関係は、カリキュラム・マップ及びシラバス（授業計画）に明示します。教育内容、教育方法及び教育評価に関する方針を、以下のとおり定めます。	次世代教育学部教育学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を備え、初等、中等教育の現場及び地域社会に貢献できる人材を育成するため、教養科目、専門基礎科目、コア科目等により教育課程を編成し、能動的な学修を促すための、講義、演習、実習等を適切に組み合わせます。各科目の到達目標とディプロマ・ポリシーとの関係は、カリキュラム・マップ及びシラバス（授業計画）に明示します。教育内容、教育方法及び教育評価に関する方針を、以下のとおり定めます。	体育学部体育学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を備え、体育・スポーツ、学校教育、健康増進、行政及びスポーツ産業等の分野において活躍できる人材を育成するため、教養科目、専門基礎科目、コア科目等により教育課程を編成し、能動的な学修を促すための、講義、演習、実習及び実技等を適切に組み合わせます。各科目の到達目標とディプロマ・ポリシーとの関係は、カリキュラム・マップ及びシラバス（授業計画）に明示します。教育内容、教育方法及び教育評価に関する方針を、以下のとおり定めます。	体育学部健康科学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を備え、医療・健康・スポーツの現場及び地域社会に貢献できる人材を育成するため、教養科目、専門基礎科目、コア科目等により教育課程を編成し、能動的な学修を促すための、講義、演習、実習及び実技等を適切に組み合わせます。各科目の到達目標とディプロマ・ポリシーとの関係は、カリキュラム・マップ及びシラバス（授業計画）に明示します。教育内容、教育方法及び教育評価に関する方針を、以下のとおり定めます。	体育学部競技スポーツ科学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を備え、競技スポーツ、スポーツ科学、健康運動及びスポーツ教育等の分野並びに地域社会やスポーツ産業に貢献できる人材を育成するため、教養科目、専門基礎科目、コア科目等により教育課程を編成し、能動的な学修を促すための、講義、演習、実習及び実技等を適切に組み合わせます。各科目の到達目標とディプロマ・ポリシーとの関係は、カリキュラム・マップ及びシラバス（授業計画）に明示します。教育内容、教育方法及び教育評価に関する方針を、以下のとおり定めます。	経済経営学部現代経営学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を備え、地域社会や産業界において経済・経営に関する課題の解決に貢献できる人材を育成するため、教養科目、専門基礎科目、コア科目等により教育課程を編成し、能動的な学修を促すための、講義、演習、実習等を適切に組み合わせます。各科目の到達目標とディプロマ・ポリシーとの関係は、カリキュラム・マップ及びシラバス（授業計画）に明示します。教育内容、教育方法及び教育評価に関する方針を、以下のとおり定めます。	国際経営学部国際経営学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を備え、国際社会及び国内の産業界において活躍できる人材を育成するため、教養科目、専門基礎科目、コア科目等により教育課程を編成し、能動的な学修を促すための、講義、演習、実習等を適切に組み合わせます。各科目の到達目標とディプロマ・ポリシーとの関係は、カリキュラム・マップ及びシラバス（授業計画）に明示します。教育内容、教育方法及び教育評価に関する方針を、以下のとおり定めます。
CP1 教養教育	CP1-教養科目では、「人間・表現」「社会」「数理」「自然・生命」「情報」「外国語」の6領域を基本として、現代社会が直面する課題を理解し、その解決に必要な資質・能力（非認知能力等）の修得を促すとともに、卒業後の進路を見据えたキャリア形成を図ります。	CP1-教養科目では、6領域を通して、現代社会が直面する課題を理解し、その解決に必要な資質・能力（非認知能力、データサイエンス、言語運用能力等）の修得を促すとともに、卒業後の進路を見据えたキャリア形成を図ります。	CP1-教養科目では、6領域を通して、現代社会が直面する課題を理解し、その解決に必要な資質・能力（非認知能力、データサイエンス、言語運用能力等）の修得を促すとともに、卒業後の進路を見据えたキャリア形成を図ります。	CP1-教養科目では、6領域を通して、現代社会が直面する課題を理解し、その解決に必要な資質・能力（非認知能力、データサイエンス、言語運用能力等）の修得を促すとともに、卒業後の進路を見据えたキャリア形成を図ります。	CP1-教養科目では、6領域を通して、現代社会が直面する課題を理解し、その解決に必要な資質・能力（非認知能力、データサイエンス、言語運用能力等）の修得を促すとともに、卒業後の進路を見据えたキャリア形成を図ります。	CP1-教養科目では、6領域を通して、現代社会が直面する課題を理解し、その解決に必要な資質・能力（非認知能力、データサイエンス、言語運用能力等）の修得を促すとともに、卒業後の進路を見据えたキャリア形成を図ります。	CP1-教養科目では、6領域を通して、現代社会が直面する課題を理解し、その解決に必要な資質・能力（非認知能力、データサイエンス、言語運用能力等）の修得を促すとともに、卒業後の進路を見据えたキャリア形成を図ります。	CP1-教養科目では、6領域を通して、現代社会が直面する課題を理解し、その解決に必要な資質・能力（非認知能力、データサイエンス、言語運用能力等）の修得を促すとともに、卒業後の進路を見据えたキャリア形成を図ります。
CP2 初年次教育・メンター	CP2-教養科目に配置する初年次教育科目では、メンターによる指導を通して、大学への適応、非認知能力の開発、学修スキルの修得及びキャリア形成を図り、学生の「夢・挑戦・達成」を支援します。また、保健者を自認する上で必要となる基礎学力及び学修習慣の形成を促します。	CP2-教養科目に配置する初年次教育科目では、メンターによる指導を通して、大学への適応、非認知能力の開発、学修スキルの修得及びキャリア形成を図り、学生の「夢・挑戦・達成」を支援します。また、保健者を自認する上で必要となる基礎学力及び学修習慣の形成を促します。	CP2-教養科目に配置する初年次教育科目では、メンターによる指導を通して、大学への適応、非認知能力の開発、学修スキルの修得及びキャリア形成を図り、学生の「夢・挑戦・達成」を支援します。また、保健者を自認する上で必要となる基礎学力及び学修習慣の形成を促します。	CP2-教養科目に配置する初年次教育科目では、メンターによる指導を通して、大学への適応、非認知能力の開発、学修スキルの修得及びキャリア形成を図り、学生の「夢・挑戦・達成」を支援します。また、保健・健康・スポーツ分野の専門知識を目指す上で必要となる基礎学力及び学修習慣の形成を促します。	CP2-教養科目に配置する初年次教育科目では、メンターによる指導を通して、大学への適応、非認知能力の開発、学修スキルの修得及びキャリア形成を図り、学生の「夢・挑戦・達成」を支援します。また、保健・健康・スポーツ分野の専門知識を目指す上で必要となる基礎学力及び学修習慣の形成を促します。	CP2-教養科目に配置する初年次教育科目では、メンターによる指導を通して、大学への適応、非認知能力の開発、学修スキルの修得及びキャリア形成を図り、学生の「夢・挑戦・達成」を支援します。また、競技スポーツ及びスポーツ科学分野を学ぶ上で必要となる基礎学力、自己管理能力及び学修習慣の形成を促します。	CP2-教養科目に配置する初年次教育科目では、メンターによる指導を通して、大学への適応、非認知能力の開発、学修スキルの修得及びキャリア形成を図り、学生の「夢・挑戦・達成」を支援します。また、経営・経営分野を学ぶ上で必要となる基礎学力、情報活用能力及学修習慣の形成を促します。	CP2-教養科目に配置する初年次教育科目では、アドバタイザ教員による指導を通して、大学への適応、非認知能力の開発、学修スキルの修得及びキャリア形成を図り、学生の「夢・挑戦・達成」を支援します。また、経営・経営及び国際ビジネス分野を学ぶ上で必要となる基礎学力、語学力及び学修習慣の形成を促します。
CP3 専門基礎・コア科目	CP3-専門基礎科目及びコア科目では、学部・学科固有の専門分野の体系的並びに専攻・履修コース等を踏まえ、学年及び学期の進捗に応じて科目を配置します。これにより、専門分野における知識・技能を体系的に修得するとともに、課題発見・解決能力を養います。	CP3-専門基礎科目及びコア科目では、次世代教育学、子どもの発達・保育・幼児教育の理論及び技能、領域・教科・保育・幼児教育実践等に関する科目を、学年及び学期の進捗に応じて体系的に配置します。幼稚園教諭免許状及び保育士資格の取得に必要な知識・技能を修得するとともに、保育・幼児教育に関する課題発見・解決能力を養います。	CP3-専門基礎科目及びコア科目では、次世代教育学、教育学、教育心理、教育経営、学級経営、教科教育、教育実践、日本語指導等に関する科目を、学年及び学期の進捗に応じて体系的に配置します。また、教員養成・公務員、スポーツ科学、フィジカルコーチ、体育実技等に関する学修を通して、体育・スポーツ・健康増進及び競技力向上に貢献するための専門的知識・技能並びに実践的指導力を養います。	CP3-専門基礎科目及びコア科目では、人体の構造と機能、疾病と傷害、柔道整復理論、柔道整復実技、健康科学、スポーツ医科学、健康運動に関する科目を、学年及び学期の進捗に応じて体系的に配置します。柔道整復師をはじめとする医療・健康・スポーツ分野の専門職に必要な知識・技能を修得するとともに、対象者の状態を多面的に捉え、適切な評価及び療育・支援を行うための課題発見・解決能力を養います。	CP3-専門基礎科目及びコア科目では、人体の構造と機能、疾病と傷害、柔道整復理論、柔道整復実技、健康科学、スポーツ医科学、健康運動に関する科目を、学年及び学期の進捗に応じて体系的に配置します。柔道整復師をはじめとする医療・健康・スポーツ分野の専門職に必要な知識・技能を修得するとともに、対象者の状態を多面的に捉え、適切な評価及び療育・支援を行うための課題発見・解決能力を養います。	CP3-専門基礎科目及びコア科目では、体育学を基盤として、身体文化領域、身体機能領域及び身体活動実践領域に関する科目を、学年及び学期の進捗に応じて体系的に配置します。競技力向上、スポーツ指導、健康増進及びスポーツ教育等に必要な専門的知識・技能を修得するとともに、競技スポーツ及びスポーツ科学に関する課題発見・解決能力を養います。	CP3-専門基礎科目及びコア科目では、経済学、経営学、マネジメント、会計学、国際コミュニケーション等に体系的に配置します。また、経営総合、スポーツビジネス、公共経営等の学修を通して、現代社会や企業、組織の活動を多面的に理解し、経営・経営に関する課題発見・解決能力を養います。	CP3-専門基礎科目及びコア科目では、「経済経営」「国際経営経済」「国際コミュニケーション」「情報システム」「ホテル・観光」の各領域に加え、「経営総合」「情報システム」「ホテル・観光・ホスピタリティ」「キャリア」に関する科目を、学年及び学期の進捗に応じて体系的に配置します。経済学、経営学、国際ビジネス、DX、ホスピタリティ等の専門的知識・技能を修得するとともに、国内外の経済・経営に関する課題発見・解決能力を養います。
CP4 卒業研究	CP4-卒業研究を通して、4年間の学修成果を統合するとともに、自ら課題を設定し、探究する能力を育成します。	CP4-卒業研究を通して、4年間の学修成果を統合するとともに、保育・幼児教育に関する課題を自ら設定し、調査、分析及び考察を行う探究能力を育成します。	CP4-卒業研究を通して、4年間の学修成果を統合するとともに、初等・中等教育に関する課題を自ら設定し、調査、分析及び考察を行う探究能力を育成します。	CP4-卒業研究、課題研究及び演習を通して、4年間の学修成果を統合するとともに、体育・スポーツに関する課題を自ら設定し、調査、測定、分析及び考察を行う探究能力を育成します。	CP4-卒業研究、課題研究及び演習を通して、4年間の学修成果を統合するとともに、柔道整復学、健康科学及びスポーツ医科学に関する課題を自ら設定し、調査、測定、分析及び考察を行う探究能力を育成します。	CP4-卒業研究、課題研究及び演習を通して、4年間の学修成果を統合するとともに、競技スポーツ及びスポーツ科学に関する課題を自ら設定し、調査、測定、分析及び考察を行う探究能力を育成します。	CP4-卒業研究を通して、4年間の学修成果を統合するとともに、経済・経営、地域社会又は産業界に関する課題を自ら設定し、調査、分析及び考察を行う探究能力を育成します。	CP4-卒業研究を通して、4年間の学修成果を統合するとともに、国内外の経済・経営又は国際ビジネスに関する課題を自ら設定し、調査、分析及び考察を行う探究能力を育成します。
CP5 国際教育	CP5-交換留学をはじめとする国際交流プログラムを通して、異なる社会・文化・言語への理解を深め、グローバルマインドを育成します。	CP5-交換留学をはじめとする国際交流プログラムや海外の保育・幼児教育に触れる学修機会を通して、異なる社会・文化・言語への理解を深め、保育者としてのグローバルマインドを育成します。	CP5-交換留学をはじめとする国際交流プログラムや海外の教育に触れる学修機会を通して、異なる社会・文化・言語への理解を深め、教育者としてのグローバルマインドを育成します。	CP5-交換留学をはじめとする国際交流プログラムや海外の体育・スポーツ文化、教育及び指導実践に触れる学修機会を通して、異なる社会・文化・言語への理解を深め、体育・スポーツを通じたグローバルマインドを育成します。	CP5-交換留学をはじめとする国際交流プログラムや海外の医療・健康・スポーツに触れる学修機会を通して、異なる社会・文化・言語への理解を深め、専門職としてのグローバルマインドを育成します。	CP5-交換留学をはじめとする国際交流プログラムや海外のスポーツ文化、競技実践及び指導実践に触れる学修機会を通して、異なる社会・文化・言語への理解を深め、スポーツを通じたグローバルマインドを育成します。	CP5-交換留学をはじめとする国際交流プログラムや外国語、国際コミュニケーションに関する学修を通して、異なる社会・文化・言語への理解を深め、経営・経営分野で活躍するためのグローバルマインドを育成します。	CP5-交換留学、海外研修、国際交流プログラム等を通して、異なる社会・文化・言語への理解を深め、国際社会で活躍するためのグローバルマインド及び異文化コミュニケーション能力を育成します。
CP6 PBL・実習・地域連携・サービスラーニング	CP6-地域社会や産業界の課題を発見し、多様な主体との協働を通してその解決に取り組む実践力を育成するための、実習、サービスラーニング、インターンシップ等の学外経験学習プログラムを体系的に配置します。	CP6-保育・幼児教育の現場及び地域社会の課題を発見し、多様な主体との協働を通してその解決に取り組む実践力を育成するため、教育実習、教育実習、サービスラーニング、インターンシップ等の学外経験学習プログラムを体系的に配置します。	CP6-学校教育の現場及び地域社会の課題を発見し、多様な主体との協働を通してその解決に取り組む実践力を育成するための、教育実習、ディベート、模擬授業、教材研究、事例検討、発表等を取り入れた、課題発見・解決型のアクティブ・ラーニングを体系的に配置します。	CP6-学校、スポーツ現場、地域社会及び産業界における課題を発見し、多様な主体との協働を通してその解決に取り組む実践力を育成するための、臨床実習、スポーツ指導実習、インターンシップ、サービスラーニング等の学外経験学習プログラムを体系的に配置します。	CP6-医療・健康・スポーツの現場及び地域社会の課題を発見し、多様な主体との協働を通してその解決に取り組む実践力を育成するための、臨床実習、インターンシップ、サービスラーニング等の学外経験学習プログラムを体系的に配置します。	CP6-スポーツ現場、地域社会及びスポーツ産業界の課題を発見し、多様な主体との協働を通してその解決に取り組む実践力を育成するための、スポーツ指導実習、インターンシップ、サービスラーニング等の学外経験学習プログラムを体系的に配置します。	CP6-地域社会、企業、行政機関、スポーツの産業界における課題を発見し、多様な主体との協働を通してその解決に取り組む実践力を育成するための、企業実習、インターンシップ、サービスラーニング、インターンシップ、海外研修及び留学等の学外経験学習プログラムを体系的に配置します。	CP6-地域社会、企業、行政機関及び国内外の産業界における課題を発見し、多様な主体との協働を通してその解決に取り組む実践力を育成するための、企業実習、インターンシップ、サービスラーニング、インターンシップ、海外研修及び留学等の学外経験学習プログラムを体系的に配置します。
CPT アクティブ・ラーニング	CP7-主体的・対話的で深い学びを促進するため、グループワーク、ディスカッション、事例検討、実技、測定・分析、指導実践、発表等を取り入れた、課題発見・解決型のアクティブ・ラーニングを推進します。	CP7-主体的・対話的で深い学びを促進するため、グループワーク、ディスカッション、ディベート、模擬授業、教材研究、事例検討、発表等を取り入れた、課題発見・解決型のアクティブ・ラーニングを推進します。	CP7-主体的・対話的で深い学びを促進するため、グループワーク、ディスカッション、ディベート、模擬授業、教材研究、事例検討、発表等を取り入れた、課題発見・解決型のアクティブ・ラーニングを推進します。	CP7-主体的・対話的で深い学びを促進するため、グループワーク、ディスカッション、事例検討、実技、測定・分析、指導実践、発表等を取り入れた、課題発見・解決型のアクティブ・ラーニングを推進します。	CP7-主体的・対話的で深い学びを促進するため、グループワーク、ディスカッション、事例検討、実技、測定・分析、指導実践、発表等を取り入れた、課題発見・解決型のアクティブ・ラーニングを推進します。	CP7-主体的・対話的で深い学びを促進するため、グループワーク、ディスカッション、ケーススタディ、ビジネスプランの作成、プレゼンテーション等を取り入れた、課題発見・解決型のアクティブ・ラーニングを推進します。	CP7-主体的・対話的で深い学びを促進するため、グループワーク、ディスカッション、ケーススタディ、ビジネスプランの作成、プレゼンテーション等を取り入れた、課題発見・解決型のアクティブ・ラーニングを推進します。	CP7-主体的・対話的で深い学びを促進するため、グループワーク、ディスカッション、ケーススタディ、ビジネスプランの作成、プレゼンテーション等を取り入れた、課題発見・解決型のアクティブ・ラーニングを推進します。
CP8 ICT活用	CP8-ICTを活用した教育を推進し、学生相互の協働的な学び及び一人ひとりの学修状況に応じた個別最適な学びを促進します。また、保育・幼児教育の現場におけるICTの適切な活用に必要な知識・技能を育成します。	CP8-ICTを活用した教育を推進し、学生相互の協働的な学び及び一人ひとりの学修状況に応じた個別最適な学びを促進します。また、保育・幼児教育の現場におけるICTの効果的な活用に必要な知識・技能を育成します。	CP8-ICTを活用した教育を推進し、学生相互の協働的な学び及び一人ひとりの学修状況に応じた個別最適な学びを促進します。また、体育・スポーツに関する情報やデータを収集、分析及び活用し、指導、競技力向上、健康増進及び課題解決に生かすための知識・技能を育成します。	CP8-ICTを活用した教育を推進し、学生相互の協働的な学び及び一人ひとりの学修状況に応じた個別最適な学びを促進します。また、医療・健康・スポーツの現場において情報を収集、分析及び活用するための必要な知識・技能を育成します。	CP8-ICTを活用した教育を推進し、学生相互の協働的な学び及び一人ひとりの学修状況に応じた個別最適な学びを促進します。また、競技力向上やスポーツ指導に必要なデータを収集、分析及び活用するための知識・技能を育成します。	CP8-ICTを活用した教育を推進し、学生相互の協働的な学び及び一人ひとりの学修状況に応じた個別最適な学びを促進します。また、経営・経営に関する情報やデータを収集、分析及び活用し、意思決定や課題解決に生かすための知識・技能を育成します。	CP8-ICTを活用した教育を推進し、学生相互の協働的な学び及び一人ひとりの学修状況に応じた個別最適な学びを促進します。また、経営・経営に関する情報やデータを収集、分析及び活用し、意思決定や課題解決に生かすための知識・技能を育成します。	CP8-ICTを活用した教育を推進し、DX活用による学生相互の協働的な学び及び一人ひとりの学修状況に応じた個別最適な学びを促進します。また、国内外の経済・経営に関する情報やデータを収集、分析及び活用し、意思決定や課題解決に生かすための知識・技能を育成します。

CP対応表

[illegible]

AP対応表

	前文	AP1 非認知能力・主体性	AP2 専門分野への学習意欲	AP3 課題発見・探究心	AP4 社会・地域への関心	AP5 国際理解・グローバル志向	後文
全学	環太平洋大学は、「挑戦と創造の教育」という建学の精神、教育の理念及び教育指針を理解し、本学で学ぶ意欲を持ち、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力の修得を目指す学生を、国内外から広く受け入れます。	AP 1 - 他者を尊重して関わり、自らの行動や感情を調整しながら、目標の達成に向けて主体的に取り組む意欲を有している。	AP 2 - 高等学校までの学修を通して必要な基礎的知識・技能を身に付けるとともに、本学の専門分野を学ぶ意欲を有している。	AP 3 - 身に付けた知識・技能を活用して物事を多面的に考え、課題の発見及び解決に取り組む意欲を有している。	AP 4 - 地域社会や産業界が抱える課題に関心を持ち、多様な人々と協働して社会に貢献する意欲を有している。	AP 5 - 異なる社会・文化・言語に関心を持ち、多様な価値観を尊重しながら、国内外の人々と交流する意欲を有している。	以上のアドミッション・ポリシーに基づき、本学での学修に必要な基礎学力、思考力、判断力、表現力、主体性、協働性、学修意欲及び適性等を、多面的・総合的に評価して入学者を選抜します。また、入学予定者には、本学での学修に円滑に移行できるよう入学前教育を実施し、その主体的な取組を求めます。
こども発達学科	次世代教育学部こども発達学科では、本学の建学の精神、教育の理念及び教育指針を理解し、本学で保育・幼児教育を学ぶ意欲を持ち、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力の修得を目指す学生を、国内外から広く受け入れます。	AP 1 - 他者を尊重して関わり、自らの行動や感情を調整しながら、目標の達成に向けて主体的に取り組む意欲を有している。	AP 2 - 高等学校までの学修を通して、保育・幼児教育分野を学ぶために必要な基礎的な知識・技能を身に付けるとともに、本学の専門分野を学ぶ意欲を有している。	AP 3 - 身に付けた知識・技能を活用して物事を多面的に考え、子どもの発達、保育及び幼児教育に関する課題の発見・解決に取り組む意欲を有している。	AP 4 - 子どもや家庭、地域社会が抱える課題に関心を持ち、多様な人々と協働して、保育・幼児教育を通じて社会に貢献する意欲を有している。	AP 5 - 異なる社会・文化・言語に関心を持ち、多様な価値観を尊重しながら、国内外の人々と交流する意欲を有している。	以上のアドミッション・ポリシーに基づき、次世代教育学部こども発達学科での学修に必要な基礎学力、思考力、判断力、表現力、主体性、協働性、学修意欲及び適性等を、多面的・総合的に評価して入学者を選抜します。また、入学予定者には、本学での学修に円滑に移行できるよう入学前教育を実施し、その主体的な取組を求めます。
教育学科	次世代教育学部教育学科では、本学の建学の精神、教育の理念及び教育指針を理解し、本学で初等・中等教育を学ぶ意欲を持ち、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力の修得を目指す学生を、国内外から広く受け入れます。	AP 1 - 他者を尊重して関わり、自らの行動や感情を調整しながら、目標の達成に向けて主体的に取り組む意欲を有している。	AP 2 - 高等学校までの学修を通して、初等・中等教育分野を学ぶために必要な基礎的な知識・技能を身に付けるとともに、本学の専門分野を学ぶ意欲を有している。	AP 3 - 身に付けた知識・技能を活用して物事を多面的に考え、初等・中等教育に関する課題の発見・解決に取り組む意欲を有している。	AP 4 - 学校教育や地域社会が抱える課題に関心を持ち、多様な人々と協働して、教育を通じて社会に貢献する意欲を有している。	AP 5 - 異なる社会・文化・言語に関心を持ち、多様な価値観を尊重しながら、国内外の人々と交流する意欲を有している。	以上のアドミッション・ポリシーに基づき、次世代教育学部教育学科での学修に必要な基礎学力、思考力、判断力、表現力、主体性、協働性、学修意欲及び適性等を、多面的・総合的に評価して入学者を選抜します。また、入学予定者には、本学での学修に円滑に移行できるよう入学前教育を実施し、その主体的な取組を求めます。
体育学科	体育学部体育学科では、本学の建学の精神、教育の理念及び教育指針を理解し、本学で体育・スポーツを学ぶ意欲を持ち、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力の修得を目指す学生を、国内外から広く受け入れます。	AP 1 - 体育・スポーツを通して他者を尊重して関わり、自らの行動や感情を調整しながら、目標の達成に向けて主体的に取り組む意欲を有している。	AP 2 - 高等学校までの学修を通して、体育・スポーツ分野を学ぶために必要な基礎的な知識・技能を身に付けるとともに、本学の専門分野を学ぶ意欲を有している。	AP 3 - 身に付けた知識・技能を活用して物事を多面的に考え、体育・スポーツに関する課題の発見・解決に取り組む意欲を有している。	AP 4 - 学校、スポーツ現場、地域社会及び産業界が抱える課題に関心を持ち、多様な人々と協働して、体育・スポーツを通じて社会に貢献する意欲を有している。	AP 5 - 異なる社会・文化・言語に関心を持ち、多様な価値観を尊重しながら、体育・スポーツを通して国内外の人々と交流する意欲を有している。	以上のアドミッション・ポリシーに基づき、体育学部体育学科での学修に必要な基礎学力、思考力、判断力、表現力、主体性、協働性、学修意欲及び適性等を、多面的・総合的に評価して入学者を選抜します。また、入学予定者には、本学での学修に円滑に移行できるよう入学前教育を実施し、その主体的な取組を求めます。
健康科学科	体育学部健康科学科では、本学の建学の精神、教育の理念及び教育指針を理解し、本学で医療・健康・スポーツを学ぶ意欲を持ち、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力の修得を目指す学生を、国内外から広く受け入れます。	AP 1 - 他者を尊重して関わり、自らの行動や感情を調整しながら、目標の達成に向けて主体的に取り組む意欲を有している。	AP 2 - 高等学校までの学修を通して、柔道整復学、健康科学及びスポーツ医科学分野を学ぶために必要な基礎的な知識・技能を身に付けるとともに、本学の専門分野を学ぶ意欲を有している。	AP 3 - 身に付けた知識・技能を活用して物事を多面的に考え、医療・健康・スポーツに関する課題の発見・解決に取り組む意欲を有している。	AP 4 - 地域社会や医療・健康・スポーツの現場が抱える課題に関心を持ち、多様な人々と協働して社会に貢献する意欲を有している。	AP 5 - 異なる社会・文化・言語に関心を持ち、多様な価値観を尊重しながら、国内外の人々と交流する意欲を有している。	以上のアドミッション・ポリシーに基づき、体育学部健康科学科での学修に必要な基礎学力、思考力、判断力、表現力、主体性、協働性、学修意欲及び適性等を、多面的・総合的に評価して入学者を選抜します。また、入学予定者には、本学での学修に円滑に移行できるよう入学前教育を実施し、その主体的な取組を求めます。
競技スポーツ科学科	体育学部競技スポーツ科学科では、本学の建学の精神、教育の理念及び教育指針を理解し、本学で競技スポーツ及びスポーツ科学を学ぶ意欲を持ち、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力の修得を目指す学生を、国内外から広く受け入れます。	AP 1 - スポーツを通して他者を尊重して関わり、自らの行動や感情を調整しながら、目標の達成に向けて主体的に取り組む意欲を有している。	AP 2 - 高等学校までの学修を通して、競技スポーツ及びスポーツ科学分野を学ぶために必要な基礎的な知識・技能を基礎的な知識・技能を身に付けるとともに、本学の専門分野を学ぶ意欲を有している。	AP 3 - 身に付けた知識・技能を活用して物事を多面的に考え、競技スポーツ及びスポーツ科学に関する課題の発見・解決に取り組む意欲を有している。	AP 4 - スポーツ現場、地域社会及びスポーツ産業界が抱える課題に関心を持ち、多様な人々と協働して、スポーツを通じて社会に貢献する意欲を有している。	AP 5 - 異なる社会・文化・言語に関心を持ち、多様な価値観を尊重しながら、スポーツを通して国内外の人々と交流する意欲を有している。	以上のアドミッション・ポリシーに基づき、体育学部競技スポーツ科学科での学修に必要な基礎学力、思考力、判断力、表現力、主体性、協働性、学修意欲及び適性等を、多面的・総合的に評価して入学者を選抜します。また、入学予定者には、本学での学修に円滑に移行できるよう入学前教育を実施し、その主体的な取組を求めます。
現代経営学科	経済経営学部現代経営学科では、本学の建学の精神、教育の理念及び教育指針を理解し、本学で経済・経営を学ぶ意欲を持ち、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力の修得を目指す学生を、国内外から広く受け入れます。	AP 1 - 他者を尊重して関わり、自らの行動や感情を調整しながら、目標の達成に向けて主体的に取り組む意欲を有している。	AP 2 - 高等学校までの学修を通して、経済・経営分野を学ぶために必要な基礎的な知識・技能を身に付けるとともに、本学の専門分野を学ぶ意欲を有している。	AP 3 - 身に付けた知識・技能を活用して物事を多面的に考え、経済・経営に関する課題の発見・解決に取り組む意欲を有している。	AP 4 - 地域社会、企業、行政機関、スポーツ産業等が抱える課題に関心を持ち、多様な人々と協働して社会に貢献する意欲を有している。	AP 5 - 異なる社会・文化・言語に関心を持ち、多様な価値観を尊重しながら、国内外の人々と交流する意欲を有している。	以上のアドミッション・ポリシーに基づき、経済経営学部現代経営学科での学修に必要な基礎学力、思考力、判断力、表現力、主体性、協働性、学修意欲及び適性等を、多面的・総合的に評価して入学者を選抜します。また、入学予定者には、本学での学修に円滑に移行できるよう入学前教育を実施し、その主体的な取組を求めます。
国際経済経営学科	国際経済経営学部国際経済経営学科では、本学の建学の精神、教育の理念及び教育指針を理解し、本学で経済・経営及び国際ビジネスを学ぶ意欲を持ち、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力の修得を目指す学生を、国内外から広く受け入れます。	AP 1 - 他者を尊重して関わり、自らの行動や感情を調整しながら、目標の達成に向けて主体的に取り組む意欲を有している。	AP 2 - 高等学校までの学修を通して、経済・経営及び国際ビジネス分野を学ぶために必要な基礎的な知識・技能を身に付けるとともに、本学の専門分野を学ぶ意欲を有している。	AP 3 - 身に付けた知識・技能を活用して物事を多面的に考え、国内外の経済・経営に関する課題の発見・解決に取り組む意欲を有している。	AP 4 - 地域社会及び国内外の産業界が抱える課題に関心を持ち、多様な人々と協働して社会に貢献する意欲を有している。	AP 5 - 異なる社会・文化・言語に関心を持ち、多様な価値観を尊重しながら、国内外の人々と交流する意欲を有している。	以上のアドミッション・ポリシーに基づき、国際経済経営学部国際経済経営学科での学修に必要な基礎学力、思考力、判断力、表現力、主体性、協働性、学修意欲及び適性等を、多面的・総合的に評価して入学者を選抜します。また、入学予定者には、本学での学修に円滑に移行できるよう入学前教育を実施し、その主体的な取組を求めます。